

令和7年3月12日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立菅刈小学校
学校長 鈴木 稔

令和6年度 目黒区立菅刈小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

- (1) 第1回実施日時 令和6年11月9日(土) 午後1時30分～午後2時30分
- ・学校の現状に関して(学校経営・学習指導・生活指導等)
 - ・四者による学校評価のためのアンケートについて
- (2) 第2回実施日時 令和7年2月22日(土) 午前10時35分～午後1時00分
- ・今年度の教育活動を振り返って(学校経営・学習指導・生活指導等)
 - ・四者による学校評価のためのアンケート結果について

※3回以上実施した場合は追記してください。

2 参加者

第1・2回 菅刈住区住民会議議長 坂本 悟様 元おやじの会会長 石井 宏治様

NPO 法人菅刈ネット21理事長 坂本 尚史様

本校第29代校長 長谷 豊様 東京音楽大学地域連携課長 木田 潤子様

鈴木 稔 山形 美和 山田 秀子(生活指導) 高沼 長人(教務)

3 評価の結果等

評価項目	四者による学校評価アンケートの結果分析 ◎(成果)、●(課題)、 ⦿(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見
学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、 教職員の態度などについて	⦿保護者の肯定的な評価が昨年度に比べ、1.8ポイントあがったことより、今年度も学校教育全体への評価は概ね良好である。一方、児童に関しては、低・高学年ともに肯定的評価が5ポイント近く下がり、学校が「楽しくない」と感じている児童が増えている。今年度、一部の学年で、学校生活が落ち着かない状況があったことが、影響している。また、地域に関しては、回答数の大幅上昇(昨年度の4に対して今年度は26)したことにより、「判断でき	・児童の評価について、様々な要因が考えられるが、全体の傾向と捉えるだけでなく、否定的回答をした児童一人一人について、丁寧に状況を分析し、改善するよう考えていく。 ・「すべての児童を全ての教職員で育てていく」という「チーム菅刈」のスローガンを教職員全体で徹底していく。 ・各学級や学年がよりよい集団となり、学校全体が落ち着くよう、児童理解を深めるとともに、児童のソーシャルス	・学校全体としては、150周年に向けて活気のある活動が出来ているが、教職員に対する児童の肯定的評価が低いのが気になる。恐らく学年学級の格差はあると思いますがその原因を明らかにして次年度に生かしてほしい。 教職員の肯定的評価が100%なことも課題意識がどうかという点で、やや気になる。 ・とても明るい雰囲気に感じる。トップのリーダーシップと場づくりがうまく絡み合っているので、色々な課題もあるがそれを乗り越え解決

	<p>ない」の評価が増え、肯定的評価が 15 ポイント以上も下がったが、地域の回答の中に、否定的評価は 1 つもなかった。（以下すべての項目について同様。）</p>	<p>キルの育成や児童の意欲を高める学習活動の実践を積み重ねていく。</p> <p>・教職員間の情報交換や児童理解の機会を今まで以上に多くもち、全教職員が同じ視点に立った指導を行う。</p>	<p>できる教職員のチーム力があると思う。雰囲気学習環境共にとてもよいと思う。</p> <p>・教職員の方々も細かいところにまで目が行き届き注意するところは指導し、よい先生方だと思う。</p> <p>・雰囲気や教職員が一丸となって子ども一人ひとりのよさを認め、よい方向へ育てていこうとする熱意を感じる。</p> <p>学習する環境については、一部の児童で他の児童が嫌がることをしてしまうことが高学年では見受けられた。学校内部では、今できることは全てやっていると思うので、その点は PTA に協力を仰ぎ、やんちゃな児童の保護者との連携を密にするなど何か解決の糸口が見出せるのではないかと感じる。</p> <p>・学校全体で、どの先生方も、児童一人ひとりに向かう姿勢がとてもよいと感じられる。お伺いした際や、電話の対応も、とても温かい。また、児童がとても楽しそうに見える。</p>
<p>I 教育目標について</p> <p>・教育目標、時程、教育内容全体について</p>	<p>◎昨年度、保護者・教職員ともに肯定的評価が下がってしまったことを受け、今年度は保護者に学校教育について分かりやすく伝えることを行い、昨年度より肯定的評価が 4 ポイント近く上昇した。また、「判断できない、分からない」についても、昨年度のより 3 ポイント近く減り、保護者の理解が進ん</p>	<p>・今年度同様に、教育目標や本校の指導の重点などを保護者にきちんと周知するため、学校だよりや学年だより、ホームページなどを今まで以上に活用し、啓発活動を行う。同時に、保護者会への参加の声掛けなども今まで以上に行い、学校の教育目標や指導の重点を理解していただけるように努力してい</p>	<p>・菅刈小学校らしさがある。</p> <p>40 分授業についての保護者の理解がまだ浅いようだが、次年度の改善点にも記載されていることの継続という形でよいと思う。少なくとも 3、4 年は継続しないと結果は出てこないの、一定期間継続して成果が出ない時は元に戻せばよいと思う。</p>

	<p>だ。</p> <p>●研究開発学校2年目となり、40分授業午前5時間制についての理解が深まり、「判断できない・わからない」と答えた保護者の数も昨年度に比べて7ポイント近く減った。しかしながら、否定的評価の割合が16%、「判断できない・わからない」の割合が33%と依然と高い割合なので、今後も保護者への周知や理解を促すことを続けていく。</p>	<p>く。学校と家庭・地域が同じ視点に立って、児童の健全な成長を支えていけるように、手を取り合っていく。</p> <p>・40分授業、午前5時間制については、学校としての取り組みが順調に行えるようになってきたので、継続して行っていく。次年度は40分授業午前5時間制のよさがより伝わるよう、学校公開などの場を活用していく。また、保護者会などの話題の一つとして、触れていくことで保護者にもきちんと周知していく。</p>	<p>・教育目標が大変充実していると思う。大人になっても、菅刈小の目標を忘れないで身に付いているとよいと思う。</p> <p>・ひとみキラキラの実践は、意識しないと難しいか。目標に向けてご指導され、児童は頑張る姿が、参観の際に感じられる。</p>
<p>Ⅱ 心の教育について</p> <p>・道徳科（道徳）の授業の充実や児童・生徒の道徳的实践力の向上に向けた取組について</p>	<p>◎「命や人の気持ちを大切に、いじめをしないよう気をつけている。」という項目の児童評価が高い。</p> <p>◎保護者の肯定的評価が昨年度に比べ2ポイント上がった。</p> <p>●「温かい言葉を使うように気を付けていますか。」という項目のポイントが下がっている。</p>	<p>・教職員は道徳科（道徳）の授業の充実や児童・生徒の道徳的实践力の向上を図り、全教育活動を通して、自分と友達の命を大切にすることや思いやりの心をもち、いじめをしない指導に努めている。今後も継続指導していく。</p> <p>・思いやりの心を育て、日常生活で温かい言葉を使えるよう、教職員一丸となって呼びかけや指導をしていく。</p>	<p>・自分自身と友達の命を大切にしたい気持ち、いじめ等じつくりゆつくりと分かりやすく伝え続けてほしい。</p> <p>・「温かい言葉を使うように気を付けていますか」という問いが、自分も気を付けねばと思った。</p> <p>・毎日のテレビや新聞、ネット上の記事では、心が苦しくなる報道が多いが、毎日の取組、周囲の心がけや気付きで、本当にそれでよいのかを学び、「温かい言葉」の使用を指導されており、とても大事なことと感じる。</p>
<p>Ⅲ 学習指導等について</p> <p>・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、少人数指導、〇〇タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について</p>	<p>●「学校の勉強が分かる」の項目について、児童の肯定的評価が昨年度に比べて下がった。特に低学年でその傾向が強いので、基礎的な学力の定着を確実に進めていく。また5年生では、20%を超える否定的回答がある。授業の在</p>	<p>・学習の基本は「話す・聞く」であることを再認識し、児童の話し方や聞き方について、家庭と協力して育てていく。また、学習規律の向上を図るとともに、学力不振の児童の個々の状況を把握し、対応を図る。</p>	<p>・低学年に勉強の分からないという児童が多い。普通は低学年は高学年より高くなるが、その対策を是非して欲しい。40分授業となり教え方の時間配分が大変だと思う。</p> <p>・「次年度の教育活動の改善点」欄に記載されている「家</p>

<p>・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について</p>	<p>り方を改めて考えていく必要がある。基礎・基本の定着のために今年度から始めたスタディタイムも、児童の実感として成果には繋がらなかった。</p> <p>○上記項目について、保護者の肯定的評価が昨年度と比べて5ポイント近く上がった。また、学習用情報端末の活用については、児童・保護者・教職員のすべてで肯定的な評価が昨年度より高くなった。公開授業などで、教員が工夫をした授業を行っている姿を見せられたことや、学習用情報端末を有効に活用した学習を展開していることが、肯定的な評価に繋がったと考えられる。</p>	<p>・ICT 機器を有効に活用できるよう、引き続き教員相互で研修を行っていく。</p> <p>・次年度は校内研究のテーマを40分授業での学力の向上や自由進度学習など、特定の教科ではなく、校内全体の授業料向上を目指したものとす。40分授業午前5時間制にて生み出された時間を教員の授業力向上の場として、児童に還元できるようにしていく。</p>	<p>庭と協力して育てていく」だが、全ての基本はここにあると思う。校長先生が入学式でお話しされていた「ご家庭と学校の両輪」とはまさにその通りで、家庭との連携無しに人は育てられません。この協力してくれる家庭数を如何にして増やすか。今後も継続的な課題かと思う。</p> <p>・積極的に発言したり、意思表示ができたりする機会が多いことは、とても素敵な指導だと思う。</p> <p>・得意な教科で、前向きになれるきっかけがつかれ、すべて完璧でなくてよいと思うが、いろんな機会が程よくあって、素晴らしいと思う。</p>
<p>Ⅳ 体育・健康教育について</p> <p>・体力向上、健康の促進に向けた取組について</p>	<p>◎「体力向上について」の項目について、児童の肯定的評価が下がり、高学年では90%を切っていることが課題となっている。一方、保護者の肯定的評価は昨年度に比べ13ポイント近く上昇した。</p>	<p>・今後も運動の日常化を推進していく。中休みや昼休みの校庭遊びを推奨し、教員も一緒に遊ぶなど、運動が楽しく行えるように指導していく。</p> <p>・持久走月間やなわとび月間などの運動に関わる行事に学校全体で意欲的に取り組むことができるよう、企画・運営・周知を行っていく。</p> <p>・40分授業でも、体育科の学習にて、45分授業と同程度の運動時間が確保できるように、授業の展開の工夫を行っていく。</p>	<p>・中休み・昼休みの校庭遊びなど、先生も一緒に遊んでくださっているので子どもたちも楽しそうでよいと思う。是非今後も継続して欲しい。</p> <p>・体力低下は私自身も子どもたちに対して常に感じていることで、菅刈小に限ったことではない。遊びのツールがゲームに移行すると、全身を使った運動をする時間が極端に減り、このようになっていように思う。菅刈公園も、何か全身を使った運動ができる場所として利用できるようにならないか、私自身も考えてみようと思った。</p> <p>・ダンスのように覚えながら体を動かすことは、体力向上・健康促進以上の要素があ</p>

			り、楽しくできる児童にとって益々向上してよいと思う。 ダンスが苦手な児童は、なわとびや他の種目で頑張れたりする選択肢はあるのか。
V 特別活動について ・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の活性化などについて	◎児童、教職員の評価は90%以上である。 スポーツデイや展覧会等、学校行事の充実が反映されていると思われる。 ◎保護者の評価が4.8ポイント上がっている。昨年度、今年度続けて評価が上がっている。	・来年度は開校150周年の年なので、より学校行事の充実を図っていく。 ・保護者、地域、教職員連携を密に取り、一丸となって、児童の愛校心を育んでいく。	・一人っ子の子どもも多いので縦割り班活動はよい。 ・学校のセールスポイントになるクラブが何か一つあってもよいと思った。それを目的に菅刈小へ入学したいお子さんが出てくると思う。また、大会やコンテストに出場参加してみるなどの校外での活動ができるとよい刺激になると思う。 ・スポーツデイの玉入れのように、他学年の組み合わせはとてもよい。展覧会は学年の垣根がなくて素晴らしい。 全校児童で歌う校歌は感動する。
VI 学校生活全般について <生活指導> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて	◎保護者の評価は1.8ポイント上がっている。 ●児童の評価は昨年度より下がっている。	・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについては、今後も全教職員の共通理解を図り取り組んでいく。	・落ち着いた学校生活の実現が課題のようなので是非具体的に対策を考えて経営方針に生かしてほしい。共通実践と信頼関係の確立が重要。 ・いじめや不登校問題など引き続き全先生方で取り組んでほしい。 ・特別支援教育に関しても授業を拝見し、個々に異なる特性をよく理解した上での対応に感動した。 ・学校だけでなく、家庭での生活規律を徹底することはとても大変なことと思う。 ・教員が児童だけでなく家族との共有事項には、踏み込めるラインが互いに合ってな

			いと大変なことなので、ご苦労されているのではないかと。
<p><防災教育・安全指導></p> <p>・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて</p>	<p>◎四者とも肯定的な評価が90%以上であり、学校教育全体への評価は概ね良好である。</p>	<p>・避難訓練に関しては、「不審者対応」について目黒警察署に依頼し、教職員対象研修を行うことができた。来年度も実施していく。</p> <p>・児童の評価がわずかに下がっているため、安全教室や避難訓練に真剣に取り組めるよう引き続き指導していく。</p>	<p>・不審者情報・校外安全など様々なことがあるが、引き続きお願いしたい。</p> <p>・菅刈公園でスタッフに対して始めた AED 訓練を、学年・クラスごとに実施してもよいと思った。</p> <p>・訓練を体験し備えていても、突然道路が陥没したり、避けられないことが起こってしまった場合に、落ち着いて行動ができる指導も必要だが、子どものできることや体力を改めて認識させて、無理をしないような指導も必要。多くの訓練に真剣に取り組む指導が素晴らしい。</p>
<p><幼・保・小・中連携></p> <p>・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について</p> <p>・近隣の幼稚園・保育園との連携について</p>	<p>◎保護者の評価が大きく11.9 ポイント上がった。</p> <p>◎教職員の評価は100%である。</p>	<p>・今後も幼・保・小・中連携については、それぞれの学校と連携を取り、進めていく。</p>	<p>・連携を大切にして、それぞれ進めてほしい。</p> <p>・近隣の学校とは、兄弟等のつながりもあり、身近な存在である。</p> <p>・音大との繋がり機会をいただけて大変光栄である。</p>
<p>VII 情報の発信、家庭・地域との連携について</p> <p>・学校の情報発信や地域人材の活用、保護者の協力状況、PTA 活動の充実などについて</p>	<p>○情報の発信について、昨年度と比べて保護者の肯定的な評価が大きく上がった。管理職を中心に、ホームページにて校外学習や宿泊体験学習などの情報をタイムリーに発信したり、各学年の行事や学習活動を発信したりすることで、保護者の理解を得ることができた。</p>	<p>・次年度も今年度同様に、必要な情報はもちろん、児童の日頃の学校での様子などが分かるように発信を続けていく。</p>	<p>・地域とのかかわりや情報発信は重要なので、これまで同様がんばって信頼関係につなげてほしい。</p> <p>・コロナでの対面や集合の機会が著しく減ったことによる学校と保護者同士の関りが希薄になってきたことを回復させていく取組を 150 周年の事業活動を通して実現していきたい。</p> <p>・児童の学校での様子など、</p>

			<p>発信し続けてください。現在行っている地域の方を招いての授業も素晴らしい企画だと思う。PTA や学校主催の講演会で石田勝紀氏や平川理恵氏に家庭教育やそもそもの教育についてお話しいただくのもよいと思う。</p> <p>・保護者の方々の熱心な活動で、とても盛り上がっているように思う。多くの見守りがあり、安全さを感じる。</p>
<p>Ⅷ 教員の人材育成について</p> <p>・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について</p>	<p>◎「教育公務員としての専門性・協同性・自覚を高める取り組みについて」の項目では、昨年度同様に 100%の教員が肯定的な回答となった。経験年数の多い教員や中堅教諭が中心となって若手教諭に様々な指導方法などを伝えることや、若手教諭がすすんで研修を受けたり、質問をしたりするなど、学校全体として学び合う風土育っている点が要因として考えられる。</p> <p>◎外部での研修を受けた際には、研修内容を校内伝達し、学校全体として学ぶことができた。</p>	<p>・全教職員が学び合いをできるように、次年度も引き続き教員研修を充実させていく。高学年を中心とした学年内での交換授業、日々の研修内容の伝達など、一つ一つの機会を大切にしながら学びを深め、専門性をさらに向上させていく。</p> <p>・150 周年を迎えるにあたって、周年行事という普段と違う行事において、全教職員が一丸となって、情報伝達や相談をきちんと行い、進めていく。</p>	<p>・評価の厳しい学級はぜひその声を大切にして指導に生かしてほしい。</p> <p>・情報交換や研修などを続け、伝達し先生方で共有して向上してほしい。</p> <p>・現在の菅刈小学校の教職員の皆様は素晴らしいと思う。保護者からいろいろと言われることもあると思うが、地域の人へもご相談ください。むしろ育成されないといけないのは、保守的な教育委員会だと常日頃思っている。現場に豊かな知識と経験、センスをおもちの先生方がいる中で、他の教科との時間配分や雑務でポテンシャルを生かしきれていないのではないかと思う場面が学校公開であり、残念な気持ちになった。</p> <p>・教育目標や校長の意向に、先生方が一丸となっているように感じる。スポーツデイでは、全体が見える状況だったが、本当に素晴らしい対応だった。</p>

<p>Ⅸ 教員の働き方改革について</p> <p>・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について</p>	<p>◎「校務システムの活用やチーム学校について」の項目では、近年は肯定的な評価が大きく上がっていたが、今年度は 10 ポイント以上下がった。ここ数年行っていた校務分掌の見直しがある程度形になった反面、新たな課題が生まれていることが要因として挙げられる。特に、今年度は児童対応に追われる場面や、教員不在の状況などが重なり、全体的に徒労感があった点が考えられる。</p>	<p>・次年度も「チーム菅刈」の意識をもって日々の業務で遂行していく。教職員の風通しの良い職場となっているので、それが継続していくようにする。お互いに声を掛け合い助け合いながら菅刈の子どもたちが健やかな成長をしていけるよう教職員がスクラムを組んで教育活動を行っていく。</p> <p>・業務を全体で分担し、心身ともに健康に過ごせるよう、業務の効率化や最適化を図る。</p>	<p>・就業時間の厳格な管理と子どもたちの成長や家庭での様々な環境の子どもたちへの影響（不登校など）からくる諸問題などへの関わりのバランスが難しいと思う。</p> <p>「時間がないから」ということにならないようチームとしての関わりができるような体制づくりが大切と思う。</p> <p>・職員室に行った際、明るい雰囲気でよい環境だと思った。</p> <p>・タブレットの指導も、学力・体力多くの課題に取り組まれて素晴らしいと思う。先生方が健康で過ごされますよう、多くの見守りのある保護者の協力も得ながら、ご自愛いただけるとよいと思う。</p>
---	--	--	---